

筑后川流域 日本血吸虫病扑灭史

日本国久留米大学教授

塘 普 著

中国江西医学院教授

张 国 忱 译

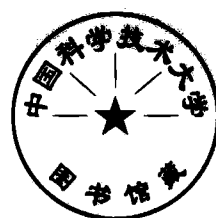
筑后川流域 日本血吸虫病扑灭史

日本国久留米大学教授

塘 普 著

中国江西医学院教授

张 国 忱 译





作者简历

现住址 福冈县久留米市寺町24.

1925年3月22日生.

●学历

1953年3月 久留米医科大学(畢)毕业.

1957年7月 获医学博士学位(「特发性坏疽的病理」).

●工作经历及研究经历

1954年5月 久留米大学助教兼久留米医科大学助教. 医学部病理学教室工作.

1957年6月 久留米大学讲师兼久留米医科大学讲师.

1961年5月 久留米大学副教授.

1974年7月 久留米大学教授(医学部寄生虫学).

1974年8月后 福冈县日本血吸虫扑灭审议会委员.

1977年度 厚生省日本血吸虫病实情调查委员.

1977年11月后 筑后川流域宫入贝扑灭对策联络协议会专门委员.

1984—1985年度 厚生省日本血吸虫病实情调查研究班研究员.

1986年4月后 筑后川河川环境管理协议会委员.

筑后川流域日本血吸虫病扑灭史

发 行 1989年3月20日

著 者 塘 普

译 者 张 国 忱

发行者 久留米大学医学部寄生虫学讲座
久留米市旭町67番地
电话: 0942-35-3311

印 刷 瞬报社写真印刷株式会社
福冈市中央区天神5丁目4番16号
电话: 092-712-2241

谨以此书敬献于为扑灭筑后川流域日本血吸虫病奋斗终生的久留米大学医学部寄生虫学教研室创始人已故冈部浩洋教授灵前。

各位殿

ご挨拶

盛夏の候、暑中お見舞申し上げます。

さて、1949年以来、日本住血吸虫病撲滅事業を進めてきた日本、九州、筑後川流域において、1976年には虫卵排出患者はなくなり、1983年5月に中間宿主・宮入貝2個を採取したのを最後に、今日まで監視調査を続けていますが、宮入貝生息を認めないまでに撲滅対策の効果を挙げました。ここに江西医学院、張国忱教授のご好意により中国語訳本を発行し得たのでお送りします。ご高覧頂き、ご参考になれば幸いに存じます。

1989年7月

著 者

目 录

照片图版	1
寄 语	26
1. 前 言	31
2. 病原体发现前的历史	32
3. 日本血吸虫的生态与病征	35
一、日本血吸虫的发育史	35
二、宫入贝(钉螺)	36
三、毛 蚴	37
四、尾 蚴	37
五、感染与症状	38
4. 人群发病调查	41
一、患者申报情况	41
二、居民检诊实施情况	41
三、皮内反应检查	42
四、随访调查	42
5. 动物感染情况	45
6. 日本血吸虫扑灭对策	47
一、流行地区的情况	48
二、扑灭工作的现状	47
1) 灭螺(撒药)的实际情况	49
2) 预防设施(沟渠混凝土化)的修整情况	49
3) 沼泽地带的填埋与土地转用	50

7. 钉螺分布的变迁·····	52
8. 今后的对策·····	55
一、继续施行钉螺的调查与维护监测体制·····	55
二、维持顺应体制·····	55
三、继续农业基础整修、促进河流改建事业·····	55
四、加强河川管理、排除寄生渠道·····	56
9. 结 语·····	57
资 料·····	59
后 记·····	89
参考文献·····	90

筑後川

水の流は

変らねど

忍敵シスト

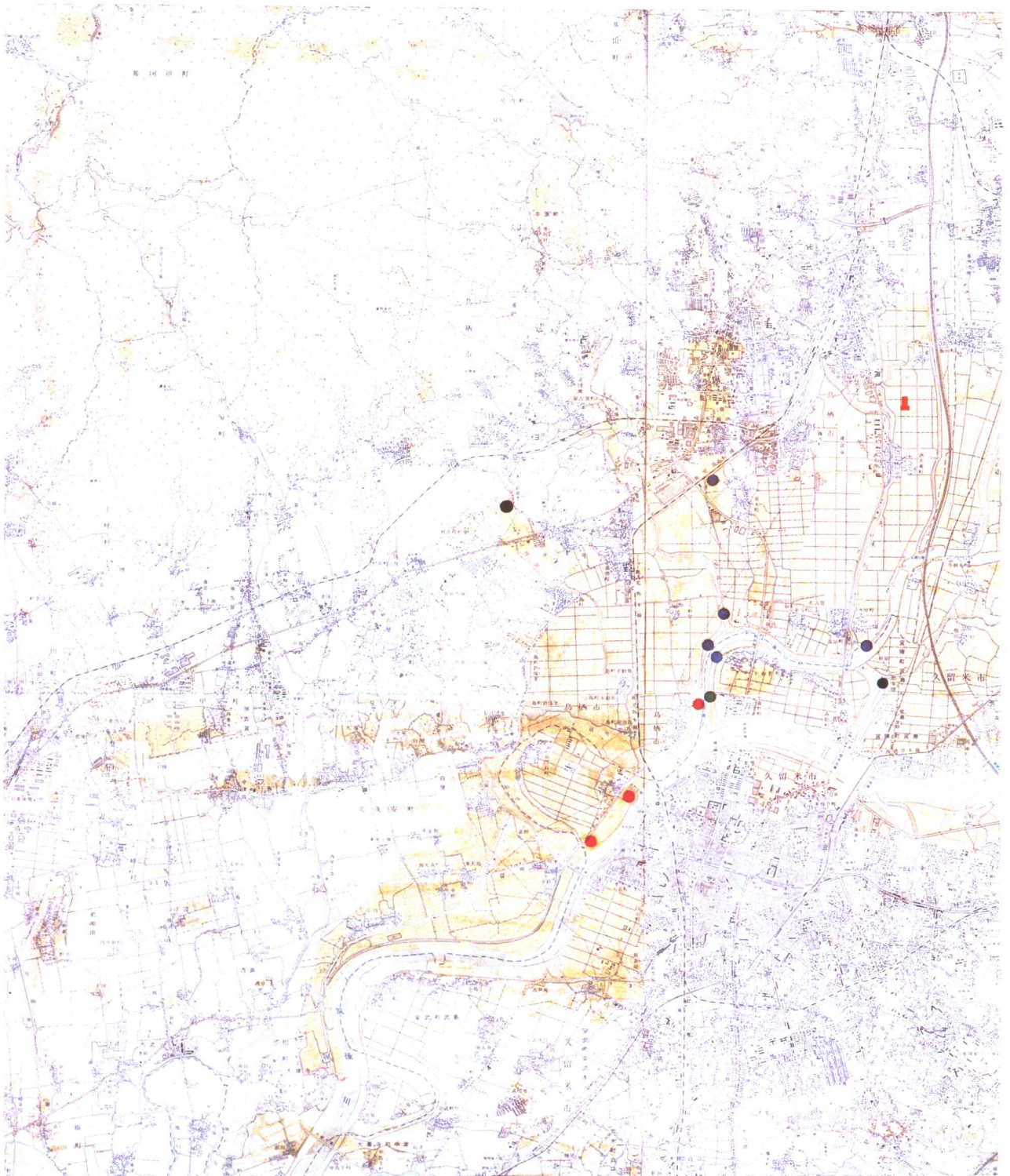
今滅びゆく

塘

著

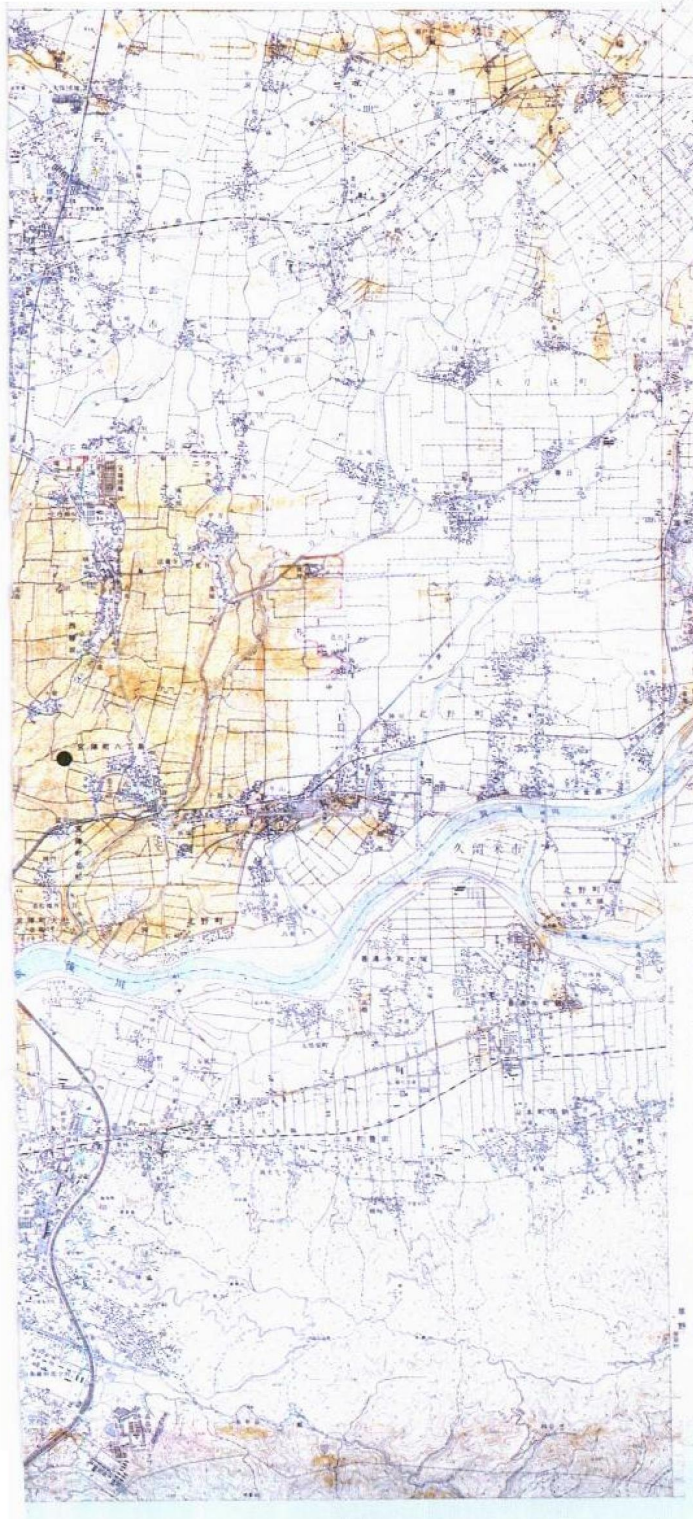
塘普

筑后地方宫人贝(钉螺)栖息地 =惊异的日本血吸虫病之



域的演变

中间宿主=



■ : 宫人先生, 宫人贝发现地 (1913年)

③ : 1955年时之最大分布地域

● : 1970年至1973年栖息分布地域

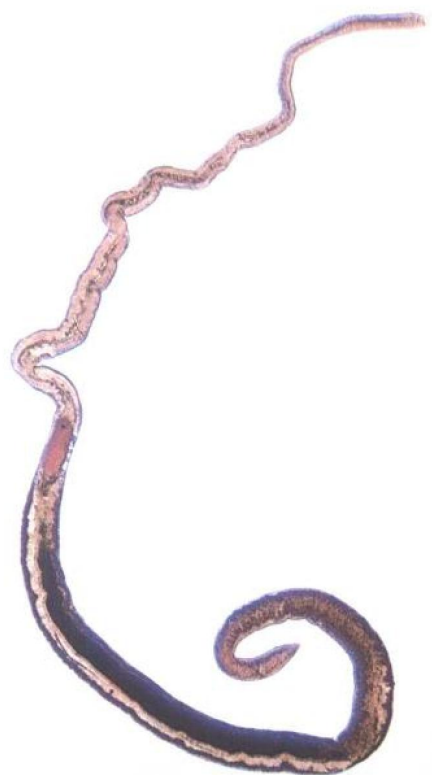
● : 1974年至1977年栖息分布地域

● : 至1978年分布地域

● : 至1983年分布地域

调查范围内的采集贝系为保有
日本血吸虫尾蚴者
钉螺的采集以1973年6月为最后

久留米大学医学部寄生虫学教研室调查



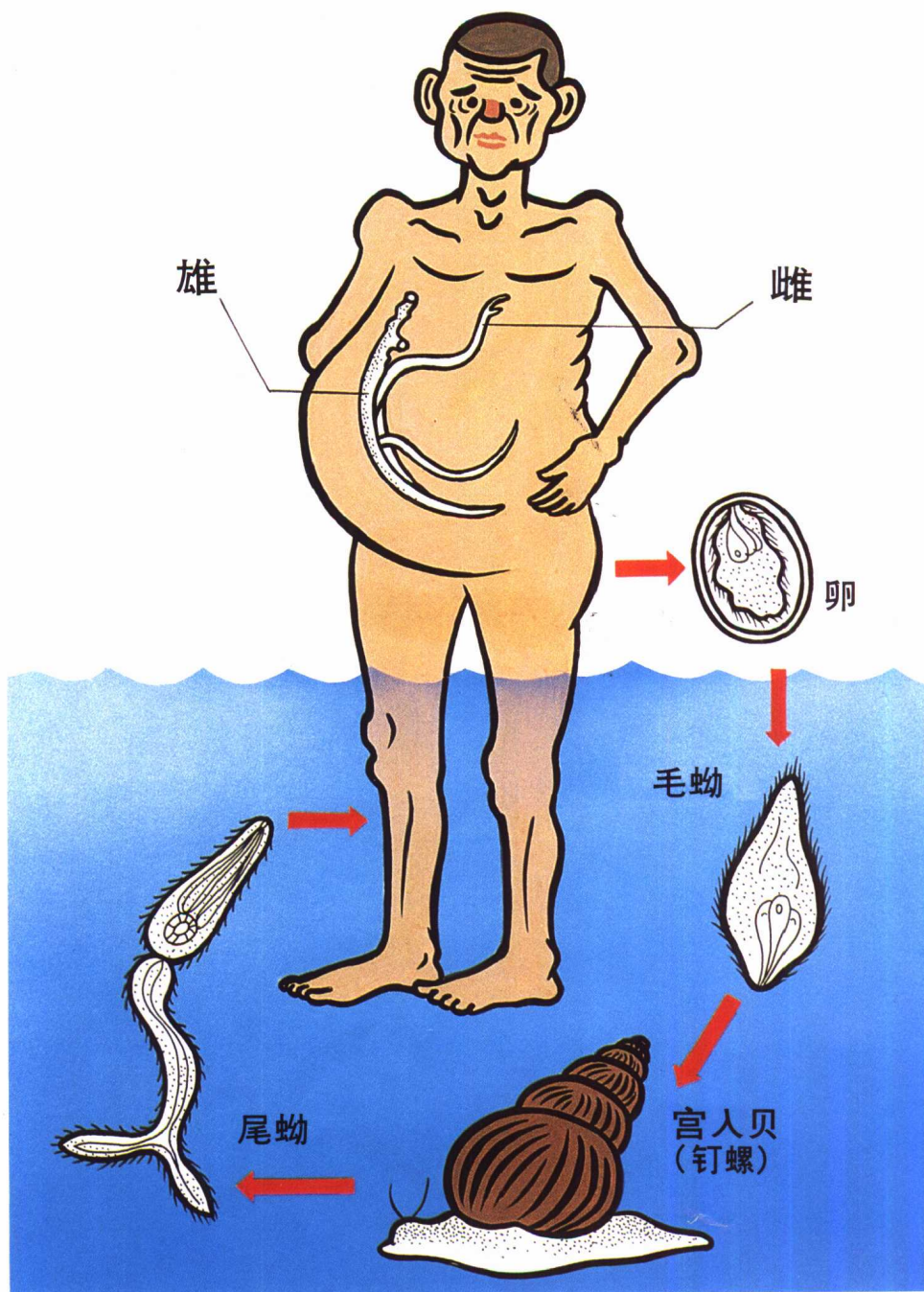
照片1. 日本血吸虫 雌成虫



照片2. 日本血吸虫 雄虫



照片3. 日本血吸虫雌雄抱合虫体



照片4. 日本血吸虫感染经路图



照片5. 宫入先生功勋碑(佐贺县鸟栖市曾根崎街)



照片6. 宫入贝(为了易于识别置于叶片之上)



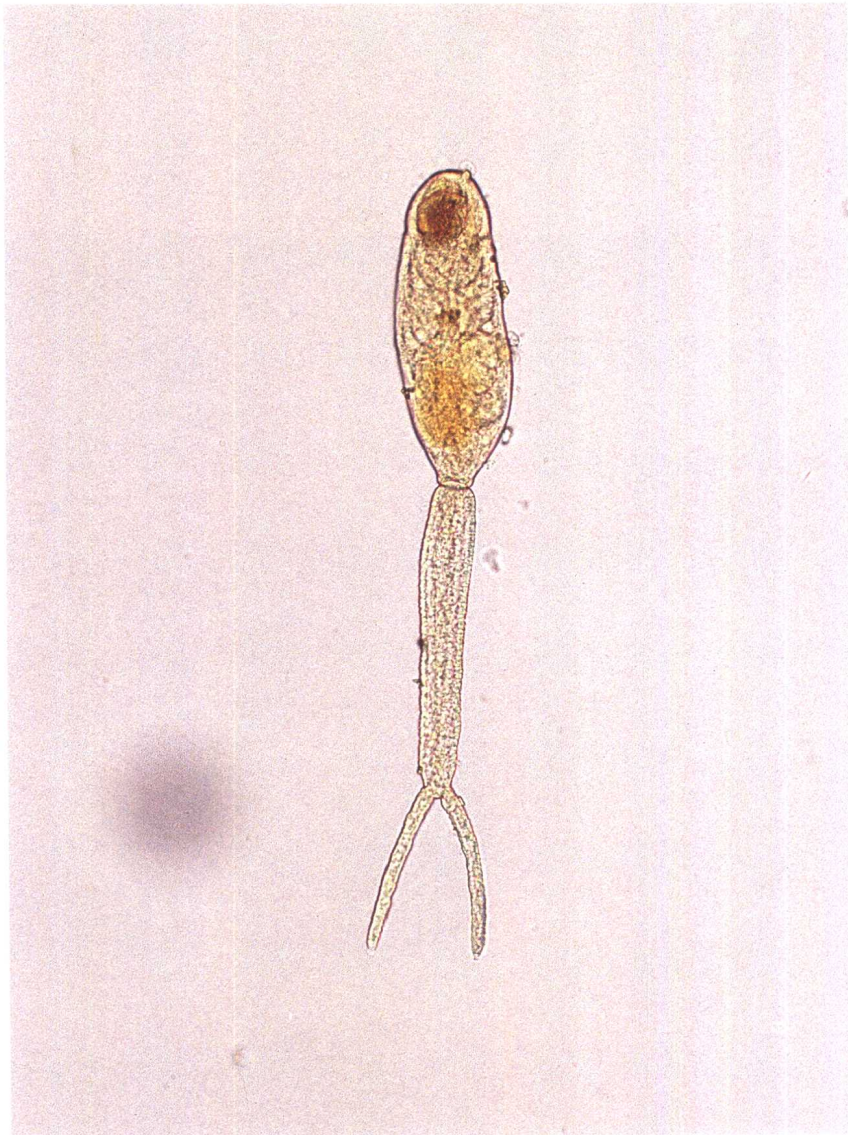
照片7. 宫入贝 土上



照片8. 日本血吸虫虫卵



照片9. 日本血吸虫毛蚴



照片10. 日本血吸虫尾蚴



照片11. 日本血吸虫性皮炎(30岁, 女性)